

## 摂津市文化振興計画推進審議会議事録

○日 時 令和3年8月2日（月）午後2時00分～3時20分

○会 場 摂津市消防本部 大会議室

○出席委員（敬称略）

1号委員 杉本 久未子

仁木 裕美

2号委員 大賀 静江

渡邊 なほみ

布川 博

古谷 邦雄

北岡 恵美子

前田 勝子

鴻池 勝彦

佐々木 信子

杉浦 徹

○欠席委員（敬称略）

2号委員 森 圭史

本田 佳郎

水本 忍

○出席職員 文化スポーツ課

同課長 松本 泰洋

同課 松田 謙次

担当者 篠崎 治美

○配布資料

- ・ 次第
- ・ 文化振興計画進捗管理シート（令和2年度振り返り）
- ・ 第2期文化振興計画 令和2年度進捗管理（補足説明）
- ・ 摂津市文化振興計画推進審議会委員名簿
- ・ 配席図

### 【議題】

- ① 第2期摂津市文化振興計画進捗状況報告について
- ② その他 新委員の委嘱について

○議 事

## 議題 1. 第 2 期摂津市文化振興計画進捗状況報告について

事務局 (大項目ごとに事務局から説明)

会長 事務局からの説明が終わった。意見・質問がある方は発言願う。

委員 身体障害者福祉協会の関係事業は、ほとんどコロナで中止であり、総会も書面となった。11月に交流会を控えており、実施について考え中であるがおそらく中止となると思う。理事・役員の研修旅行についても1度協議を行ったが流れる予定。団体活動は、文化部とスポーツ部があるが、文化部の手作り関係については、1回実施できたが、それ以外は全て中止となった。

委員 11月1日に生涯学習フェスティバルの一環として、生涯学習市民のつどいを実施した。毎年、40～50人ほどの参加であるが、この時は、80人ほど参加があり、いろいろな行事に出席されている市長からも、参加者の多さに驚き、感激したとの言葉をいただいた。

委員 音楽関係では、団体活動するにあたり、会場が借りられない状態である。演奏会そのもの以前に、日常の練習ができない。学生であれば、学校のクラブで調整しながらできることもあるが、一般団体の場合、公共施設の利用制限もあり難しい。昼間活動できる方はまだよいが、夜しか集まらない団体は、ほぼ活動停止状態である。インターネットやSNSを使用しての方法もあるが、それは、PRにはなるが、本当の良さを味わってもらえない。アマチュア団体として、自分たちの楽しみを表現し、分かち合いたいという想いがあるが、そのための練習会場の確保ができない。また、自分たちの技術の低下と、活動そのものの衰退の危惧がある。これからどうなるのか、早くコロナが収束してほしいが、不安な状態が続いている。

副会長 演劇関係も音楽連盟と同じで、夜の稽古が全くできない状態である。稽古ができなくなると、発表会に出られないので、劇団自体がもつかどうか微妙である。何とか明るい兆しになることを祈る。

委員 質問であるが、コミュニティプラザは、昼間は使用可能だが、夜はいけないという医学的根拠がわからない。生涯学習大学事業は、夜の時間帯である。予定が変更、変更で、苦勞しており、8月はできなくなった。大声を出すことや、マスクを外すなどもないのに、なぜだめか。

事務局 本日から緊急事態宣言であり、大阪府が各自治体に夜8時には施設を閉めるよう要請している。おっしゃるように昼も夜も一緒だろうとの意見は当然であると思うが、府としては、人流を押さええるということが、市町村への要請の趣旨であり、飲食関係なども含め、夜を早めに切り上げようという一連の考え方である。市は府の要請に従っている状況なので、大阪府もしくは、国が何かしらの医学的根拠や理由を持っているかもしれないが、現在、市にその内容は下りてきていない。市として、クラスターが発生するという事態は避

けなければならない、府の要請に従っている状況である。そのような中で、6月末から7月にかけてのまん延防止の期間などは、やれることはやりましょうと、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に配慮しながら、市として事業を実施できたものもある。国をあげて緊急事態宣言となると、制限に超えられない壁はあるが報道によると、ワクチンがいきわたることが現状改善の材料だと思う。

委員 イベントガイドに関して、事務局からの説明通り（市自体の事業がコロナの影響で少なくなっていることや、市の広報誌で一般に向けて記事掲載の募集を行ったが、希望がなかったことにより）今年度は作成を見送る形になった。今後の進め方として、コロナ禍の代替え措置としてwebなどいろいろな方法を考えていくのか、もしくはこれを機にこれからのイベント情報の発信の仕方について、転換していく必要があるのかを検討していきたい。

委員 一般公募で参加している。先ほどの施設使用についての、昼間は良くて夜はダメの話であるが、私が主宰する、せつつブルーウィングスは、市の公共施設の維持管理や運営をしている。施設を使用する際、借りる側が誓約書を記入し、検温、消毒と対策することになっているが、実際は大声で話をしたり、消毒・検温なども協力的でないこともある。施設を貸す側も、借りる側もみんなで協力して、コロナ対策するという気持ちを持ってもらうことが大事である。今は、みんなが協力してコロナを収めるよう努める、そうすることでまたいろんな文化やスポーツの事業もできるようになる。

会長 みんなが同じように意識をもって、コロナ対策するのは、非常に難しい問題である。オリンピックにおいても然りである。勝手な行動をするような人たちに対して、どうコントロールしていけるのか。モラルを高め、そしてその先の文化振興につなげていけるようにするのが、筋が通った考え方ではないかと思う。

委員 感想であるが、水戸黄門の印籠みたいに、コロナだからできません、何かにつけてコロナだからと。感覚だけではないだろうけど、そういう決め方をしているところもあるのではないかと思う。できないばかりではなく、なんとかしてその中でやれる方法はないのか考えて工夫するのが健全な考えではないか。何でもコロナだからと、それで全て済まされ、全体の意識が下がっているように思う。定年が伸びて70まで働いたからもういい、活動をしていくつもりがない、などと発言する人もいる。そんな中で、本当に生涯学習が続いていくのだろうか、盛んになっていくのだろうかと心配している。

委員 スポーツ推進委員の活動事業であるが、昨年と大して変わらないが、体育館が使用できるということで、マスクを着けたまま競技ができるような種目として、ボッチャを推進していきたいと思っている。市民に来てもらえるよう体験会としたいが、もし、市民の方に来てもらえない場合は、スポーツ推進委員の研修にシフトしていけたらと思っている。

会長 新しいことをやろうとされているのか。

委員 ボッチャは、障害者の方も一緒にできるので、その点からも推進していきたいと思っている。

会長 委員（身体障害者福祉協会）とも話をされているのか。

委員 まだきちんと決まっていないので、そこまでには至っていない。

会長 では、老人クラブの活動について、コロナ禍においては、こういう活動ができた、またはできなかったというお話をいただきたい。

委員 老人クラブもほとんど行事はできなかったが、1月と6月に機関誌の発行をしている。また、グランドゴルフは、時期が良く、実施することができた。今年度は、11月に鳥飼地区のシニアの発表会があり、鳥飼小学校の体育館で300人ほどの参加者の予定だが、食事も伴うので開催は難しいと思う。

委員 振興計画の補足説明の資料だが、分析・考察について、他市の事例を研究する必要がある、としているが、少しでも調べているのか。

事務局 表の左側は、去年度の取組実績。右側は、分析・考察なので、美術展についてみてみると、実績としては、市の美術展は中止となった。右側の分析・考察では、コロナ禍で安心して実施できるように他市との事例を研究する必要がある、と。実際どのように市でできるのかを他市に確認すると、議論はあったが、生ではない形、webを使うとかの形でしているところはある。ただ、美術展という形で、作品を生で見る、絵画や書を生で見るといったときに、どうすればよいか。われわれは美術展を実施する考えである。ただし、時間を短縮する、人数の制限をする、など、ありきたりかもしれないが去年できなかったことを、今年改めてどうするのか。いろいろ考えたうえで実施とする場合は、どのような形で実施できるのか、他市もほぼ同じような想いであると思うが、お互いに情報交換することで研究をし、その研究をした結果、令和3年度にうまく実施ができればと考えている。

委員 実施をするという内容か。

事務局 市の広報誌に美術展をする、という記事の掲載もするし、先ほどもあったが、コロナでできないばかりではなく、当然やれることはやるという姿勢。ただ、例えば、美術展の前日に緊急事態宣言が出たと、事業ができないような制限の内容の情報が、府から下りてきた状況になれば、辞めざるをえない。ただ、何も準備せずにやめる、ということはするつもりはないので、状況が許す限りは、しっかり準備を進める。

委員 別件であるが、年の表示についての希望であるが、西暦をいれてほしい。今は平成や、令和が混在してもわかるが、あとあとのことを考えると、西暦がわかりやすい。

事務局 他課にも関係する資料や項目については、文化スポーツ課だけで変更修正をすることは進められない。ただ、本課だけの考えで変更可能な部分については、見やすくなるということであれば、西暦の併記が可能な部分はさせていただく。

会長 案件1についてお話しいただいたが、言い忘れたことや疑問点、補足などないか。ここで議論しても、今後どう動くかわからないが、このような苦しい状況の中で、各団体がどのように取組ができたかということを確認できた。

## 議題2. その他 新委員の委嘱について

事務局 委員の委嘱について、皆様にお配りした審議会名簿に記載の通り、現在の本審議会の委嘱期間は9月26日までとなっている。この間、皆様から本市の文化振興のためにご尽力いただいたき感謝申し上げます。なお、新委員の一般公募については、広報7月号にて募ったところ、応募があり定員を満了したので報告する。現委員の方には、改めて依頼申し上げます。団体代表の委員の方は、団体を通じて推薦いただき、依頼申し上げます。

会長 このことについて質問などあるか。

委員 ずっと来られない方がいるが、出席できる人を推薦するようにすべきである。また、通常委員の交代は、新年度からというものだと思うが、途中で変わるというのはどうなのか。

事務局 1点目、出席率のことは、おっしゃる通りだと思う。団体ごとの都合もあろうかと思うが、出席できる人というところは説明し推薦いただくつもりである。2点目の任期途中で委員が変わった件は、団体の中での都合等によるので、詳細については控えるが、理解いただきたい。

委員 私事だが、老人クラブの本部役員を現在はしていないので、今回9月で委員を退き、新しい人に交代となる。就任中はお世話になりお礼申し上げます。

事務局 ただいま、委員から挨拶があったが、会長におかれても、本日の会議をもって、勇退される。会長には、文化振興計画の1期及び2期策定について携わっていただき、計画策定に大きく寄与された。本市の文化振興に対して多大なる尽力をいただいた。

会長 大阪人間科学大学の教員をしていた関係で、こちらの文化振興計画を作るときに委員として参加させていただき、当時の学長が委員長をしていたこともあり、第1期文化振興計画については、一部文章まで書かせていただく形で参加した。その関係で、第2期も手伝わせていただいた。おかげで、多くの委員の方と知り合いになり、摂津市の文化についても知ることができた。また、自分自身の教員生活も充実したものになった。最後に、摂津市の文化は大都市でお金を使ってやる文化ではなく、自分たちが手作りで、先輩たちがやってきたことをうまく変えながら後輩たちが引き継いで、という形で続けられてきた文化だ

と思っている。それが最近は、次の担い手がなかなか見つからないような分野もあり、とても大変というのが、私が感じていたことである。次の計画の策定に際しては、若い人たちに先輩方がやってきたことを引き継ぐ形で計画を作っていけるように、みなさんで工夫してやっていただければと思う。これまでの協力についてお礼申し上げる。

事務局 会長においては、長年にわたり協力いただき、本市にとって財産であると思っている。第2期の計画が来年までであり、第3期の計画が再来年からはじまり、来年は、第3期の計画を作成していくということになる。我々としては、会長の経験を第3期計画にも、と考えていたが、会長の挨拶にもあったように、新しい計画は、計画を実施する新しい方が作成すべきとの意見をいただいた。会長におかれては、今回を最後に勇退ということである。本当に長きにわたり改めてお礼申し上げます。

会長 本日の議事は全て終了した。以上をもって、令和3年度第1回摂津市文化振興計画推進審議会を終了する。